



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第10巻第9号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第10巻第9号). 泌尿器科紀要 1964, 10(9): 656-656

ISSUE DATE:

1964-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112594>

RIGHT:

編集後記

インターン制度ヲ検討スル諸機関 例エバ医学部長会議 大学病院長会議 学術会議ノ委員会 更ニ最近ニハ自民党小委員会ニ至ルマデ インターン制廃止ノ結論ニ達シテイル。コレニ対シテ 肝腎ノ厚生省ハドノヨウナ見解ヲ持ツテイルノカ 現在デハ判然トシナイガ 最近 本年度方針ヲ決定シタト報ゼラレル。同省ハ 本年度ニハ コノ制度ヲ ムシロ強化シヨウトシテ出シテ手前モアリ 又 実際ニ本年度ノ実施ヲ放置スルワケニモユカヌカラ 本年度ノ方針ヲ立テルノハ当然デアル。ソコデ ソノ基本方針ト言ウモノヲ眺メテミョウ ①各科ノ修練ヲ細分セズニ 内科系 外科系ノ如クニ大キク区分スル事モ考慮スル。②修練生ニ病床ヲ分担サセ 外来ニモ一応ノ責任ヲ持タセル。③修練生ヲ医師ニ準ジテ取り扱ウヨウニスル。④指導医師ノモトニ医行為ヲ相当広範囲ニ行ワセル。⑤修練生ノ待遇 手当等ニツイテ各病院ノ実状ニ応ジ デキルダケノ配慮ヲ行ウ 以上ガ要点デアル。コノ制度ノ主管省デアル厚生省ガ指導方針ヲ打ち出スノハ当然デアロウガ ソノ方針ガ必ズシモ常ニ■又 全面的ニ妥当デアルカ否カハ別問題デアル。修練生ハ医師デハナイ コレニ實際ノ診療行為ヲ分担サセル事ハ タトエ指導医ガアルトシテモ ソノ分限ガ問題デアロウシ 又 何カノ事故ガ起ツタ場合ノ責任問題モ簡単デハナイ 修練生ヲ医師ニ準ジテ取り扱ウト言ツテモ 具体的ニハ ドノヨウニスルノカ。待遇ヤ手当ヲ各病院ニテ配慮スルト言ワレテモ 実際ニハ病院側デ困却スルデアロウ コノヨウニ法理的ニモ現実的ニモ判然トシナイ点ガアル。又 各病院ニハソレゾレノ特徴ヤ方針ガアルカラ 叙上ノ方針ガ適当デナイ場合モアロウ 医育研究機関デアル大学病院ニテハ 必ズシモ厚生省ノ言ウヨウニハ参ラヌ点ガアル。ヤハリ医育 即チ一人前ノ医師ヲ作り上ゲルノハ 一貫シテ大学ノ任務デアツテ ソノ中途ニ厚生省ガ入りコンデ来ルトコロニ問題ガアル。

差シ当ツテ本年度ノ方針ヲ決メルノハヨイガ 肝腎ナ事ハ来年以後ノ事デアル。マサカ コノママデ ズルズルト 来年モ同ジョウナ状態デ行クノデハナカロウ 既ニ諸方面カラノ意見ハ出サレテイルノデアルカラ 厚生省ハ ソレヲノ意見ヲ充分ニ汲ミ取ツテ 早急ニ来年度ノ構想ヲ決定スベキデアル（昭和39年9月）

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200 円を前納する。1冊料金 120 円。払込みは振替口座番号 京都4772番、泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法等を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400 字詰原稿用紙を用い、附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 300 語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。